

海外への魅力発信を通じ、人と人をつなぐ

市国際交流員
観光客受け入れ環境整備にも携わる

ロック・ミーガンさん

27歳 〓大更〓



1996年生まれ。オーストラリア(南オーストラリア州)出身。趣味は料理、読書、旅行で、休日は県内のみならず東北各地に足を伸ばしている。ホームステイや交換留学での来日経験もあり、流暢な日本語を話す。最近は、さんさ踊りに向けた練習に熱中。

「オーストラリアの地方で育ち、その後はアデレードという都市に約10年間住んでいたため、八幡平市に来て、生まれ育った場所に戻った感覚になりました」とにこやかに話すのは、市の国際交流員として、市商工観光課に勤務するロック・ミーガンさん。

中学の時に受けた日本語の授業が気に入って、大学まで勉強を続けた。大学在学中の留学経験もあり「また日本に」という思いを抱きながら、卒業後はアデレードで教師の職に就いたが「コロナも明け、まだ若いし、今行かなければ」と一念発起。以前から興味があったJET^{※1}の派遣プログラムに申し込んだ。

昨年8月の着任

後は、観光資源の調査や市内在住外国人のサポート、国際交流に関する事業などで積極的に活動を行っている



市内での体験を、SNSを使って英語で情報発信しているミーガンさん

※1 JET：外国青年を招致して地方自治体で任用し、地域の国際交流などの推進を図る事業

る。松尾保育所で開いた異文化理解講座では「質問をたくさんする子どもたちが印象的だった」と目を輝かせる。

現在、特に力を入れているのはインバウンド観光振興業務で、外国人観光客が快適に過ごせるよう、施設の表記や飲食店のメニューの英訳、チェックなどを担当している。派遣通知を受けた当初「八幡平市を聞いたことが無く、すぐに検索して調べた」と振り返るが「自然豊かで、来られてよかった」と笑みを絶やさない。「皆さんにオーストラリアのことを知ってほしいし、海外で市の認知度が高まるような取り組みもしていきたい」と思いを描く。

※2 インバウンド観光：外国人が旅行で日本を訪れること

市は市内観光事業者(飲食店、温泉施設、ペンションなど)を対象に、英語訳版の案内文章などの作成を支援しています。

費用 無料

問い合わせ先 商工観光課
観光振興係(☎・内線1349)

詳細はこちら

【広告】

不眠症、自律神経症、不安神経症、眼・視力の悩み

薬のプロフェッショナルが
あなたのご相談を承ります

漢方のあさひ薬局

八幡平市大更25-118-1(国道282号沿い) TEL.0195-75-2227

■編集後記

▽来年9月に迎える市制20周年に向け、記念ロゴマークが決定しました(19頁参照)。プレ企画ではありませんが、約19年、ほぼ変わらない広報はちまんたいの表紙デザインも、本号を区切り新しくしました。引き続き、手に取ってもらえる広報づくりに取り組みたいです。

▽西根一中の卒業式を取材しました。校内には、終始温かい空気が流れていて、心こもった素晴らしい合唱や最後のホームルームで涙を零している卒業生を見て、私ももらい泣きしそうに。新たな道を進み始める卒業生の皆さんのご活躍をお祈りします。

(千)

※広報はちまんたい4月4日号(No.346)の印刷経費は1部102.61円、発行部数は9,954部です。経費の一部は広告料で賄われています。広告掲載については、株総合広告社(☎019-626-3370)まで。

